

高等学校芸術科（美術）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	作者名	フィンセント・ファン・ゴッホ	(イ)	ゴッホ もよい。	各5×2
		作者名	アンリ・マティス	(エ)	マティス もよい。	
	2	(1)	粘土でつくった型の上に漆を含ませた麻布を張り重ねて成形し、のちに内部の粘土を取り除く技法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各7×2
		(2)	いくつかの木を組み合わせて作る技法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	
	3	(1)	屋外・店頭・公共空間・交通機関など様々な場所で、映像を映して広告や案内に利用した映像表示装置。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各9×2
		(2)	実写で人物などの被写体を少しずつ動かしてコマ撮りする技法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	
	4	作品を収集・保管する役割や、作品を調査・研究する役割、作品を展示する役割、教育普及活動を行う役割などがある。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	15	
	2	1	導入	生徒の身の回りにある伝達のデザインを鑑賞し、伝達のデザインの見方・感じ方を深めるとともに、公共性や伝達性を考えて情報を伝えるための、形や色彩などによるコミュニケーションの有効性について実感させる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。導入のねらいと学習活動が対応しているものだけを正答とする。	14
			学習活動	生徒が許可を得て撮影した、地域で使われているポスターやチラシ、ロゴマークが使われている看板などの画像を鑑賞し、ロゴマークの意図や表現の工夫、共通性、公共性などについて形や色彩など造形的な特徴を基に、感じたことや考えたことなどの意見を述べ合う。		
		2	参考作品 制作意図	次の点を踏まえて、参考作品を描くとともに、制作意図を書いていること。 ・伝えようとする内容を分かりやすく、簡略な形を用いている。 ・企業の理念を形で表し、「らしさ」や「ならでは」が伝わる。 ・言語の違う外国人の人々や文字の読めない人たちにも情報が的確に伝わる。 ・ロゴタイプが描かれている。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。参考作品と制作意図が対応しているものだけを正答とする。	30

高等学校芸術科（美術）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
3	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">着目させる部分 水面</td> <td>(漣) にみられる表現の工夫</td> <td rowspan="4">着目させる部分と各作品の表現の工夫が対応しているものだけを正答とする。</td> <td rowspan="4">15</td> </tr> <tr> <td>不定形な細い筋の色面を配置するのみで、きらきらとゆらめく水面を表している。</td> </tr> <tr> <td>(アルジャントウイユのレガッタ) にみられる表現の工夫</td> </tr> <tr> <td>ややあらいタッチの筆致が断続的に並べられることによって、水面に揺れ動く映像を表している。</td> </tr> </table>	着目させる部分 水面	(漣) にみられる表現の工夫	着目させる部分と各作品の表現の工夫が対応しているものだけを正答とする。	15	不定形な細い筋の色面を配置するのみで、きらきらとゆらめく水面を表している。	(アルジャントウイユのレガッタ) にみられる表現の工夫	ややあらいタッチの筆致が断続的に並べられることによって、水面に揺れ動く映像を表している。	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある海や川などの水辺を低い視点から見つめてみたり、高い視点から見下ろしてみたりするなど角度を変えて見つめさせる。 水辺に自分自身を投影して、様々な感情をもたせる。 普段見慣れている水辺の風景に見られる形や色彩、全体の様子などに着目させる。 心に残っている水辺の風景やそのときの自分の気持ちを思い出させる。 作品に表したい身近な水辺の風景がないか考えさせる。 	2つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	16
	着目させる部分 水面		(漣) にみられる表現の工夫			着目させる部分と各作品の表現の工夫が対応しているものだけを正答とする。	15				
不定形な細い筋の色面を配置するのみで、きらきらとゆらめく水面を表している。											
(アルジャントウイユのレガッタ) にみられる表現の工夫											
ややあらいタッチの筆致が断続的に並べられることによって、水面に揺れ動く映像を表している。											
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>様々な環境に目を向け、自分の見方や感じ方を大切にしながら、動植物や風景などの自然や身の回りのもの、街並みなどの環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取ること。</td> <td>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かな生活を創造する美術の本質的な働きについて捉えられるようにする。 日常生活の中で美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、生きがいとしている人々の生き方に関わる、生活や社会を心豊かにしたり、人間関係や国際間の理解を深めたりする働きがあることにも気付けるようにする。 美術の働きについての鑑賞の活動を通して、多様な美術の在り方や社会との関わり、美術文化と深く関わられるようにする。 </td> <td>1つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</td> <td>14</td> </tr> </table>	1	様々な環境に目を向け、自分の見方や感じ方を大切にしながら、動植物や風景などの自然や身の回りのもの、街並みなどの環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取ること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かな生活を創造する美術の本質的な働きについて捉えられるようにする。 日常生活の中で美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、生きがいとしている人々の生き方に関わる、生活や社会を心豊かにしたり、人間関係や国際間の理解を深めたりする働きがあることにも気付けるようにする。 美術の働きについての鑑賞の活動を通して、多様な美術の在り方や社会との関わり、美術文化と深く関わられるようにする。 	1つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	14	各12×4	48	
1	様々な環境に目を向け、自分の見方や感じ方を大切にしながら、動植物や風景などの自然や身の回りのもの、街並みなどの環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取ること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6								
2	<ul style="list-style-type: none"> 心豊かな生活を創造する美術の本質的な働きについて捉えられるようにする。 日常生活の中で美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、生きがいとしている人々の生き方に関わる、生活や社会を心豊かにしたり、人間関係や国際間の理解を深めたりする働きがあることにも気付けるようにする。 美術の働きについての鑑賞の活動を通して、多様な美術の在り方や社会との関わり、美術文化と深く関わられるようにする。 	1つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	14								
5	<p>次の点に留意して描いていること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 形を正確に捉えて表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって立体感を表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって質感を表現していること。 ○ 画面にバランスよく構成していること。 										